

<http://www.e-meisei.net>

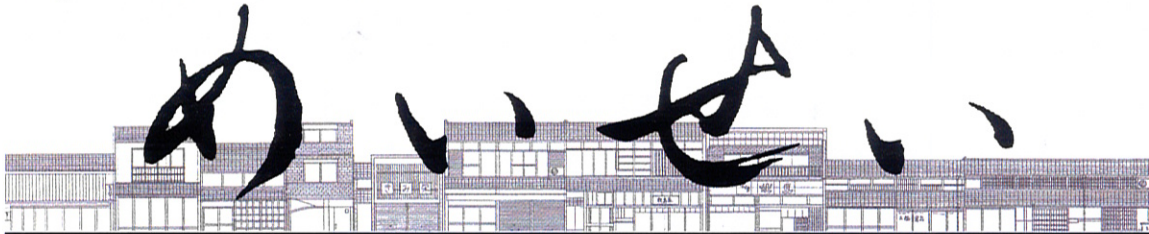
No. 60

発行 (社)愛知建築士会名古屋西支部

編集 広報渉外委員会

清須市西枇杷島町南六軒37 みのじの館内
TEL (052) 502-0938 FAX (052) 502-0939

印刷所 株式会社 ウエルオン TEL(052)732-2227



めいせい記念号



清洲城



名古屋城



堀川



「めいせい」60号の発行にあたって

名古屋西支部長 江口 眞樹

「めいせい」は平成2年9月の名古屋西支部結成後、時を同じくして歩みを始めました。年3回の発行は平成3年3月の創刊から一度も欠けることなく続いてまいりました。

以来20年、今年は西支部創立20周年を迎え、「めいせい」も60号をめたく発行する運びとなりました。これもひとえに馬場富雄初代支部長、歴代支部長と役員の皆様方、さらにそれを支えて下さった支部会員や協賛会社の方々のおかげと深く感謝をいたしております。

西支部ホームページには、創刊から現在に至る「めいせい」がすべて掲載されていますので、ぜひご覧になって下さい。これを読みますと、これまで支部が行ってきた活動が、大変よくわかります。創刊以来連載されてきた馬場先生の「基準法解説シリーズ」には敬意を表します。

研修見学会、研修勉強会など、その時々タイムリーな催しが紙面をにぎわしています。まちづくりへの取り組み、耐震に関わる活動、また耐震偽装事件についてもいろいろ自省を込めた提言をして参りました。

「めいせい」は支部会員をつなぐ大切な機関誌です。皆様には研修会などを通じて紙面にも参加いただいておりますが、今後ともさらなるご支援をお願いします。



祝「めいせい」第60号発刊

(社)愛知建築士会 会長 佐藤 東亜男

支部機関紙「めいせい」第60号が発刊されますことを心からお祝い申し上げます。

名古屋西支部の設立から、20年間、年3回、第60号と継続してこられた支部役員の皆様方のご努力と熱意にあらためて敬意を表します。

支部活動におきましても、木造耐震診断などに積極的に参加されていることや、「美濃路まちづくり」・西区「ものづくり文化の道」推進協議会での活動、また今年度は「清須越400年事業ネットワーク」に参加され清須越マップの作成等々、着実に地域に密着した活動を続けておられます。行政との連携、地域の住民と共に地域貢献活動など多くの実績は愛知建築士会にとりまして、とても自慢の出来る支部活動だと思います。

さて、公益法人化の進捗状況ですが、11月25日の臨時総会で承認いただいた定款を添え、12月に本申請を提出し、その後、月一回開催される公益認定等審議会で審議され、3月下旬には認定を得られる予定で県当局と協議を進めております。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いします。

公益法人移行後の支部活動について様々にご検討いただいているところですが、活動内容について、当面、大きな変更の必要はないと考えています。

また、この支部機関紙「めいせい」は支部活動の情報発信と支部会員相互の交流の場としての大きな役割と、創刊号から継続されている初代支部長、馬場富雄さんご執筆の「建築基準法解説シリーズ」で研修の役割も果たしております。ご関係者の皆様には尚一層のご尽力を賜りますようお願い致しますと共に、貴支部の益々のご発展をお祈り申し上げます。

清須越400年・名古屋開府400年記念事業

清須越400年事業ネットワーク 臼井 鑑造

1600年関が原の戦いに勝った徳川家康は、豊臣政権から徳川政権へと権力移行を進め、1603年征夷大將軍となり、1605年將軍職を秀忠に世襲させ、権力の大勢を固めました。更に政権の安定を図るため、江戸と大阪の間にあり大きな力を持つ尾張の中心都市清須が低湿で狭いため、軍事・経済両面から安定した都市整備をすることとしました。豊臣系大名に命じ、名古屋の地へ世界でも類のない規模の「近世都市の大移転」が行われ、徳川の威光が示されました。この事業を「清須越」といいます。以来、名古屋は尾張地域の政治、経済の中心都市として発展し、今日に至っています。「清須越」については同封マップに詳しく説明されていますので、マップを参照願います。

清須越400年事業ネットワークでは今年迎えた清須越400年・名古屋開府400年を記念した事業を民間ベースで実現するため、2009年5月、名古屋市及び近郊の歴史資産や文化を活用したまちづくり団体のネットワークを結成し、事業を進めてきました。

活動内容は、

1. 清須越の調査・研究・学習会
2. 清須越まち歩き
3. イベント開催(狂言公演会)
4. 調査・研究の成果物としてのマップ・展示用パネル制作

となっています。



1. については、清須越された約130寺社の訪問調査を実施し(現在約90寺社完了)、資料化を目指して進行中です。シンポジウムも3回実施。「清須越と堀川」、「清須越と岩盤割」、「近世家並帳と清須越」が実施され、今後3回実施予定です。
2. は清須越関連地区を4ヶ所に分け、市民参加型まち歩きを4回実施しました。
3. は清須越をテーマとした新作狂言「轍」をとりこした「狂言講演会」が11月6日(土)、名古屋能楽堂にて開催され、前売りチケットは全て売り切れとなりキャンセル待ちの状態が続きました。
4. は「清須越マップ」(愛知地域貢献センター助成事業)とともに、「清須越直前の清須城下町推定図」「清須越直後の寺社マップ」「清須越鳥瞰図」とそれらのB0版パネルが9月に完成しました。これらの成果品は今年度「建築総合展」や「狂言講演会」などイベントで配布・展示され、多くの事業実績が積み上がりました。今後はこれまでの成果をもとに、収集された情報を書籍としてまとめ、市民の方々に情報開示をしてゆく予定です。清須越の実態を理解することにより、地域への愛着と一体感を深める一助となることを願って活動しております。

以下、関った団体の自己紹介と活動報告をします。

東区まちそだての会

松田 和彦

私たちの会は、名古屋城から徳川園までの旧武家町に位置する「文化のみち」を中心に、東区のまちなみ・人・歴史・文化等への理解を深め、さらにステキなまちにしたいと願い、イラストマップや絵はがき発行による地域の広報や文化のみち植木館で来館者をもてなすほうじ茶の会、他の町を見て歩くまち歩き会などを行っています。平成13年の設立以来、まちを楽しみ行動することで、まちと共に成長する「まちそだて」をめざしています。

会の設立当初から東区役所と共同で、毎年11月3日に「歩こう!文化のみち」という地域イベントを企画して、会員の協力のもとに開催しています。地域の歴史や魅力あるポイントを結ぶスタンプラリーを中心にして、特別公開やイベントを企画したり人力車を走らせて、地域のPRと魅力アップに努めてきました。また、会員が文化のみちについて「山吹ものがたり」(江崎公朗著)「東区撞木町界隈」(西尾典祐著)などを出版しています。文化のみち植木館の運営にも協力しています。

昨年度は、2010年が清須越400年の記念の年ということで、名古屋都市センターの助成を受けて、2回のワークショップとまち歩きを行い、清須越城下マップを作って名古屋城ほか数カ所で無料配布中。また、清須越400年事業ネットワーク設立にも協賛して活動中です。

職業・年代いろいろ、男女も半々というゆるい会ですので、歴史や文化に興味のある皆さん、ぜひ一緒にまちを語ってみませんか。ご連絡お待ちしております。

●連絡先 松田 bkescape2003@gmail.com



那古野一丁目町づくり研究会の紹介

川原 茂樹

那古野一丁目町づくり研究会は都市景観を守り、商店街の活性化に協力する活動を行う民間の非営利団体です。2004年4月、四間道・円頓寺界隈の蔵や屋根神様がなくなるという情報が地域で問題になり、危機感を共有する中で約30名が集まり創立されました。この年の10月には名工大の学生や先生が加わり、翌年にはホームページを開設して、商店街と連携するタウン誌「ポー」の人達も参加するようになりました。

四間道・円頓寺界隈は、蔵や屋根神様・子守地藏尊・古民家など戦火を免れたものも多く、清須越商人をはじめ江戸時代や戦前の名古屋の伝統的な町のたたずまいを残す地域です。戦前戦後の盛り場で、歴史の古い円頓寺商店街もあります。

ワークショップ等の活動をする中で、この歴史的資産を生かすための具体的活動目標が検討され、討議の結果「地域に史跡表札を立てて、地域の誇りとしながら、外部からもこの地域に来てもらえるようにしよう」ということになりました。2007年、名古屋都市センターの町づくり助成夢工部門の助成金を取得し、美濃路南部の「西區ものづくり文化の道」のエリア12ヶ所に史跡表札を設置しました。

2009年以降、清須越400年事業ネットワークに参加し、活動しながら、地域の歴史について深めています。



地域貢献活動センター助成事業活動報告

10月8日(金)、名古屋市中心企業振興館4階第3会議室において、地域貢献「まち&ひとづくり」セミナー「まちづくり・建築士の役割とは」が開催されました。その中で、4団体の活動報告が行われ、名古屋西支部関係では、枇杷島みのじ会の「清須越400年」(近世都市の大移転)を詠むと、清須越400年事業ネットワークの清須越400年記念「清須越マップ」について、活動報告を行いました。枇杷島みのじ会は後藤昌治会長が報告する予定でしたが、翌日の清須まつりの山車揃え準備のため出席できず、私が画像を交えながら1500人を超える小中学生から応募があったことを報告しました。

「清須越マップ」では、水谷友彦氏が400ネットの目的と活動概要報告を行い、そのあと私がマップ制作の経過とマップの内容について報告しました。

他団体では「こどもワークショップ豊橋」と「木造耐震ネットワーク知多」が報告を行い、講評では、静岡県建築士会景観整備機構副代表 塩見 寛氏が愛知県の活発で多様な地域貢献活動に対し高い評価を与えてくださいました。

美濃路まちづくり推進協議会

臼井 鑑造

私達の会では、2010年の清須越400年を見据えて、以前から事業を計画してきました。

2007年5月には西区五条橋詰ポケットパーク基本計画を名古屋開府400年記念事業に間に合うよう、名古屋市堀川総合整備室へ提案しました。2008年3月、清須市五条橋詰ポケットパーク基本計画を清須市都市計画課へ提案し、清須と名古屋の五条橋ポケットパークの同時実現を目指しました。

2009年7月、西区五条橋詰ポケットパーク基本計画及び趣意書(関係まちづくり6団体、地元商店街2団体連名)を西区長提案として名古屋市堀川総合整備室へ改めて提案しました。残念ながら400年記念事業には間に合いませんでしたが、堀川総合整備計画に組み込まれ、いずれ、実現されることが担保されました。

2009年5月、名古屋都市センターの呼びかけから、名古屋近郊の歴史資産を活用したまちづくり団体のネットワーク「清須越400年事業ネットワーク」が結成され、かねてから清須越を視覚的に理解できる清須越マップ制作を目指していた私達は、ネットワークに参加し、他団体との協働によるマップ制作を図ることとしました。

各団体の人材による歴史情報が集積され、更に、現存する清須越寺社のうち約90寺社を、1年以上かけ訪問調査を行い、新たな情報が発掘収集されました。これらをもとに、マップの編集が平行して進められ、ワークショップの開催、マップ掲載原稿の度重なる校正、写真の撮影を経て、2010年9月「清須越マップ」(愛知地域貢献センター助成事業)が完成しました。10月の建築総合展では、名古屋西支部コーナーにおいて、B0版のタペストリーにされた各マップが展示され、マップの配布も行われました。

NPO法人 揚輝荘の会

田中 進

揚輝荘は松坂屋を創業した伊藤次郎左衛門祐民の別荘として、一万坪の土地に大正7年(1918年)頃から様々な建物が移築、新築された。政、財、官界の要人や文化人の社交場、またアジアからの留学生の寄宿舎にもなった。和室に、鈴木禎次設計の洋室を増設した「伴華楼」、山荘風の「聴松閣」修学院離宮を見本に構築されたと言われる庭園にある「白雲橋」煎茶室の「三賞亭」などが残っています。

揚輝荘のランドマークです。外観はハーフチンバーの山荘風で、石貼りの暖炉、2本の煙突、車寄せの柱がゴージャスな雰囲気をかもし出しています。

上坂冬子の「揚輝荘、アジアに開いた窓」～選ばれた留学生の館～で紹介されています。多くの留学生と日本の学生との交流の歴史があります。毎年春、秋に留学生、一般外国人と日本人との交流会を開催し、お茶会、生け花、ランチも一緒に作り、コミュニティの場所となっています。

また、揚輝荘の会では地域の魅力発信のための協力事業として、NPOなどとの協働、連携事業などを行っています。

今回、名古屋開府400年記念の年に、歴史・文化・まちづくり系の4団体および活動家で「清須越400年事業ネットワーク」を構築し活動しています。

- 火曜～日曜/9:30～16:30/休み/月曜(祝の時は翌日)
- 名古屋市千種区法王町2-5-21
地下鉄覚王山駅 ①番出口から徒歩約10分
電話 052-759-4450



ネットワークの活動報告

狂言公演

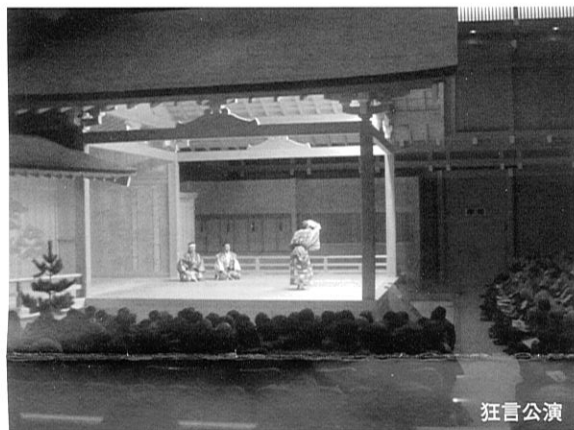
江口 眞樹

11月6日(土)、名古屋能楽堂にて清須越400年事業ネットワーク主催の「清須越四百年記念狂言公演会」が開催されました。我が美濃路まちづくり推進協議会もネットワークの一員で、西支部からは私を含め6名がお手伝いとして参加しました。

午前9時半の開場のころには、かなりの行列ができ、開演の時には空席はまったく見あたりませんでした。私たちスタッフも用意された席で、鑑賞することができました。

私は狂言を鑑賞するのは今回が初めてでした。主催者から「清須越」とそれにまつわる狂言の話について説明を受けた後、いよいよ舞台が始まりました。場内は水を打ったようにシーンとなりました。そして、知識として頭の中にあるものが、目の前に展開されます。…おお、あの歩き方はまさしく狂言だ。ふむふむ太郎冠者か…などと感心しながら、いつの間にか舞台に引き込まれていました。第一部の演目は「二人袴」、「棒縛」、内容は割愛しますがおかしくて思わず笑ってしまいました。

第二部は正調名古屋甚句(清須越し)、そして清須越しを題材とした新作狂言「轍」、いずれも名古屋弁を取り入れたもので、大いに楽しめました。



狂言公演

マップ・展示パネル



マップ制作ワークショップ



建築総合展展示



清須越マップ

記念事業

秋の美濃路を歩こう！ スタンプラリーウォーク

高倉 康人

平成22年10月16日(土)、名古屋開府400年「清須越400年夢歩き」のタイアップ事業として、西区の美濃路でスタンプラリーウォークが行われ、西支部が参加している。



ラリーポイント

美濃路まちづくり推進協議会もラリーポイントを受持ち、「清須越マップ」を配布しました。このマップは(社)愛知建築士会・愛知地域貢献活動センターの助成により作成されたもので、美濃路まちづくり推進協議会が参加する「清須越400年事業ネットワーク」により作成されました。

午前10時から、美濃路街道沿いのクラ設計駐車場に清須越マップと清須越のパネルを展示してラリーポイントを設置、西支部の中村順吉、中島鐘重、長谷川隆雄、山田正博、高倉が交代で対応しました。11時を越えたあたりから家族連れが目立つようになり、スタンプを押してマップを渡すと大切に持って帰られました。沢山の参加者と楽しくふれあうことができました。少々残念だったのはラリーウォークなのに自転車で回っている方がほとんどでした。午後4時の終了時間までに約180名にマップを配ることができ、スタンプラリーウォークは終了しました。引き続き、午後5時から「清須越400年夢歩き」に向けての人出が多かったので、展示を続けながらマップを設置したところ、かなりの数の来場者があり、約50冊のマップを配布することができました。予定数の300冊には届きませんでしたが、「清須越400年夢歩き」参加者の中にもマップを持って歩いている方が多数みられました。



クラ設計駐車場

くふれあうことができました。少々残念だったのはラリーウォークなのに自転車で回っている方がほとんどでした。午後4時の終了時間までに約180名にマップを配ることができ、スタンプラリーウォークは終了しました。引き続き、午後5時から「清須越400年夢歩き」に向けての人出が多かったので、展示を続けながらマップを設置したところ、かなりの数の来場者があり、約50冊のマップを配布することができました。予定数の300冊には届きませんでしたが、「清須越400年夢歩き」参加者の中にもマップを持って歩いている方が多数みられました。

自治体イベント報告

記念事業

清洲城山車揃え

〈清須越四百年記念事業〉は、年度初めから数々の催しが実施されてきたが、ハイライトは十月十日の「清須返し時代絵巻行列」であり、その行列の終着点である清洲公園駐車場での「山車揃え」であった。

「清須返し」とは、四百年前に徳川家康の命により、当時人口七万人の、京都以東第一の町のすべてが大移動をして名古屋を作った「清須越」の里帰り行列で、歴史的アイデアといささか皮肉も感じさせる豪華なもの。それを迎えたのが西枇杷島の五輦の山車である。

さて、地元から離れた所へ山車を移動するというのは大変である。過般の〈愛地球博〉の「山車百輛揃え」に参加した(このときは四輦)経験が役立ったけれども、そのままで曳行は数多くの障害で不可能。五輦共完全解体し、各山車共、4tと2tの二台のトラックで運んだ。前日の雨の中でシートを張り一部を組立て、快晴の翌十日の早朝組立完了。そして五条川に架かった橋を渡り、清洲城の前に見参した。行列が着く前の大イベントとなり、城を前にしての山車の晴

れ姿は大勢の人々に感動を与えた。

しかしこの「山車揃え」には度重なる会合と、大変な準備が必要だった。駐車場から堤まで曳く坂の難題は、側溝の有蓋工事、樹木の伐採、コンクリート壁や境用擬木などの削除。しかしこれらは成功により報われた。夜は提灯を点け、「やると踊り」の間隙を縫っての山車からくり演技等々。翌週の名古屋の〈開府四百年〉の「大山車まつり」には負けないものであったと自負している。

後藤 昌治

清須越四百年事業実行委員会・副会長
西枇杷島山車保存会・会長

山車曳きまわし

清洲城山車揃え



山車曳きまわし

清洲城山車揃え

イベントに参加して

遠藤 昭子

去る10月10日(日)前日まで心配していた天候にも恵まれ、主人と2人、ぶらりとサイクリング気分で行ってきました。

自転車を降り、清洲城に向かって歩いていくと、大手橋はすでに人だかりでした。その中心には大きな山車があり、その上でからくり人形が見事な舞をみせていました。からくり感動しつつ清洲城の脇を抜けると、そこには楽市楽座を思わせる屋台が並び、元気な声が響き渡っていました。活気のある声に誘われていくと、地元商工会の方々のふるまうぜんざいやお好み焼きなどたくさんの屋台が並んでいました。多くの人が時代絵巻を楽しみつつ、食べ歩きを楽しんでいました。

心地よい風に吹かれ、ゆつくりと流れる時間を楽しみながら、400年前にもこんな自然と人のぬくもりがあったのだと思うと、普段忘れていた何かを取り戻せたような気がしました。





使用後回収・リサイクルされる
エコマーク認定番号
第08123025号

超高強度軽量コンクリート製OAフロア

ネットワークフロア29/40

10年保証製品

人と社会に快適テクノロジー

共同カイトック株式会社

(中部FS営業所) 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-24-8 TEL (052) 581-0204

URI <http://www.ky-tec.co.jp>

支部創立20周年記念事業 平成22年度第2回研修見学会

『平城京遷都1300年・古都奈良散策』に参加して 窪田 卓



昨年の夏の終わりのことですが、家族で二泊三日の奈良・京都を巡りました。まだまだ観たい所が残り、今年は夫婦で奈良に行こうと計画していました。そんな折、西支部から奈良への研修旅行募集の案内があり思わず願ってもないことだと妻に確認し、すぐに申し込みました。数日後FAXが届きその日までの申し込み名簿でしたが、募集の40名近くでした。良かった……

いよいよ出発です。亀山から奈良へ、最初に法相宗薬師寺へ。その金堂にてお坊さんの説法を聞かせて頂くことができました。四苦八苦(生老病死それぞれの苦+物事に執着する事により起こる苦)を教えてくださいました。また、この



薬師寺は勉強の寺で一般的な葬儀は、行っていないと今までに再建された建物も写経勧進という形でなされたかと教えてくださいました。

その後、自由参拝となり、我々は西塔(再建された)東塔(10月末に大修理に入るため見学できなくなる)を見学し、次に伽藍最大の建造物といわれる大講堂へ。後堂と言われる裏側のお釈迦様の十大弟子の像が祀られていましたが、十人十色の顔立ちで、全てインドの方のお顔でした。仏教の伝来はインドからだ実感した次第です。

次に唐招提寺の参拝をし、昼食の奈良パークホテルへ、ここで個人での奈良旅行に来ていたら経験することのない1300年前の宮廷貴族の食膳を復元した宮廷料理を頂き、大満足して遷都1300年のメイン会場に向かいました。朱雀門から入り、一路、第一大極殿へ向かい参加者全員で記念撮影。次に第一大極殿を見学、その高さ約27メートルに驚き、この時代の高い技術力に感心した次第です。

続いて平城宮跡資料館へ。交流広場から集合場所へ戻りました。心残りは、遣唐使船を見学できなかったことです。この思いと共に名古屋へ戻りました。

大満足の日でした。参加できて良かったと思いました。ありがとうございました。



薬師寺東塔

平成22年度
第1回研修勉強会

愛知県立芸術大学見学会

伊藤 翔

10月30日(土)長久手町・愛知県立芸術大学の見学会に参加しました。参加総数41名と盛況で、当日は美術学部教授の野田理吉先生の案内のもと、キャンパスを見させていただきました。校門よりアプローチを進むと、木々に囲まれた豊かな空間が広がっており圧倒されました。竣工から45年が経ち、建物群と緑とが調和し「森の中の大学」でした。ピロティが特徴的な講義室棟が目にはいつてきましたが、芸大祭の最中でピロティは合板で囲われ学生達の出店ブースとなっており…。機会があれば完全体を見ようと決めました。現在芸大は再開設計画により建物群が存続の危機にあると聞きました。理由は老朽化・環境の変化に対応させる為など、建て替え問題の時によく聞くフレーズです。歴史的価値・文化的価値が

ある建築がこのような状況になるのは悲しいことです。なぜ安易に解体という方向にいくのでしょうか?確かにメンテナンス不足で老朽化しているとは感じましたが、改修にて克服できると思いますし、ましてや芸術大学という環境において、歴史的価値・文化的価値がある建築物での芸術教育は、通常の建築物では得ることができないものが多いと思います。このような保存問題を聞くたびに、建築を学ぶ人以外にも建築・都市環境・景観などの教育、例えば中学・高校などで必要だと思えます。そうすれば将来このような問題が多少は解決していくような気がします。ぜひこのすばらしいキャンパス群を将来の芸大生の為にも、改修により保存・活用していただきたいものです。

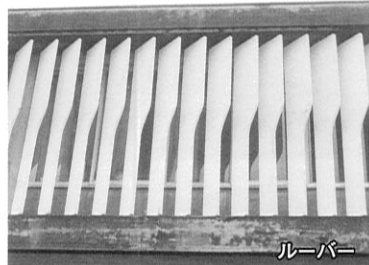
このような貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



講義棟



デザイン棟



ルーバー

建築総合展・建築士デー

山田 正博

第40回建築総合展NAGOYA2010が10月7日より9日までの3日間開催されました。名古屋ではリエンナーレ2010・COP10・名古屋開府400年などのビッグイベントが開催中で、建築展もテーマ展示「40年の歩みとこれから」、「会員作品展」、「学生作品展」、「産学官情報発信コーナー」、「大手ゼネコン技術展示」に加え「スーパーハウジングフェア-INあいち」、「次世代エネルギー住設機器展」、北支部による「小さな建築」コンペ応募作展示、西支部は清須越400年事業ネットワークによる「清須越寺社マップ」のパネル展示など例年と違い支部、委員会による企画参加も多数ありました。また、会場中央に喫茶・休憩コーナーやカタログコーナーが設置されコーヒーの試飲サービスもあり出展数96社・団体/215小間にてぎやかに開催され、入場者総数は34,200名でした。

10月8日の建築士デーには西支部より20名参加していたが、参加者300名で国際ホテルにて開催された。今回はお楽しみ抽選会は無く、「建築展40年の歩み」を流行したフォークソングのBGMに乗せて、大型プロジェクターにて紹介されました。若き日の時代に想いをはせつつ、思い出話がぐいに盛り上がりました。



建築総合展



建築士デー

いいインテリアのある場所には
いい生活がある。

SANGETSU <http://www.sangetsu.co.jp>

本社/名古屋店 TEL:052-564-3111 名古屋ショールーム TEL:052-564-3225



造園 外構工事・公共工事



地盤調査・地盤改良



SMD杭製造・販売 石材加工・販売



株式会社 本陣

〒461-0048 名古屋市東区矢田南三丁目13番7号
TEL: 052-722-3000 FAX: 052-722-8311
E-mail: info@honjin.co URL: <http://www.honjin.co>

わたしの『この頃思うこと』 みすめ

栗田美代子

少し心配なことがあります。それは、もうすぐ60才になるけれど、どんなおばあさんになるのか、いや、なれるのかということ。

60才と聞くと、いつも“村の渡し船の船頭さんは、今年60のおじいさん…”という唄を思い出します。母の実家の前を揖斐川が流れていて、まさに唄のような光景がありました。堤防に小屋があり、川のむこう側にあるおじいちゃんの畑に舟で行きました。

都会育ちの方々には想像できないでしょうね。昔の話をするのは、もう年寄りに仲間入りした証拠かな。先日、友人から「最近、何かに感動したことある？」

と尋ねられました。感動って？

子供達が生まれた時、幼稚園のお遊戯会、小学校の運動会、卒業式、いろいろな場面を思い出すけれど、感動とまでは言えないな。

友人は書道家で、大作を書き上げ京都へのひとり旅で、雨に煙る銀閣寺をみてとても感動したそうです。

「私達の年齢になれば、もうそんなに感動することもないでしょ。だからひとつひとつの小さな感動を大切に生きていきたい。」と言うのです。

今まで何を見ても、何をやっても感動など無縁だった私には、友人の言葉こそ感動でした。昔はよかった、なんて後ろ向きでなく、新しい感動や楽しいことを見つけ、今が一番幸せと言える、そんなおばあさんになりたい、と思っています。なれるかな、なりたくない。

平成22年度第2回 「信州・陣馬形山」山行記

山田 正博

めいせい山歩きの第2回山行報告をさせていただきます。陣馬形山(標高1,445M)あまり聞き慣れない山かと思いますが、南アルプスと中央アルプスを望む山々の展望を楽しむにはベストのコースで体力・技術・危険度も☆1つでコースもよく整備された一般向けの山です。11月3日「文化の日」、一行7名は中央道・恵那峡サービスエリアに集合し、コンビニで食料調達後、一路 松川 ICを降り15キロ程先にある標高980mの登山口へ向かう。登山道は落葉と栗のイガで埋め尽くされ、アカマツ林とブナの尾根を登り林道と数度交差しつつ樹林を進む。



塩見岳

今年は猛暑の影響で熊が里山まで出没し話題となっている関係で、皆さんそれぞれに熊対策としてカウベルやラジオ持参で防備体制も万全。途中野生サルに遭遇しましたが、登山口より陣馬形牧場とキャンプ場を経て約90分程度で山頂に到着。雪化粧したアルプス連山を望む360度のパノラマの世界に一同驚きの歓声を上げる。東方には3000メートル級の「鋸岳」「仙丈ヶ岳」「北岳」「間の岳」「塩見岳」「荒川三山」と続く南アルプス。そして西方の中央アルプス正面には千畳敷カールを形成する「駒ヶ岳・宝剣岳」「空木岳」「恵那山」山麓を中央道がはしり駒ヶ根市街や天竜川からなる伊那谷を心置きなく眺める。下山は同じコースとなり、アカマツ林の尾根を下る。山の恵みを求めコースの周囲に目をこらしキノコ談議に花が咲く。少しアカマツ林の探索をするがマツタケでなく毒キノコばかり、全員無事で登山口に到着。

松川 IC近くのリンゴ園でリンゴの食べ比べをして、シナノスイートと云うとっても甘いリンゴを購入。再び恵那峡サービスエリアで休憩、栗キントンとコーヒーをいただき解散となる。

読者の皆さん、めいせい山歩きに参加しませんか。小学生から高齢者まで幅広い年代まで楽しめる会です。春・秋の年二回ベストシーズンに企画をしています。是非、次回春の山行に参加してみてください。



陣馬形山山頂にて

学生コンペの面白い話

山本 とし

建築展の最終日、例年通り吹上会場9階展望ホールにて第5回学生コン

ペの公開2次審査が行われました。今年の審査員長は西沢立衛氏に依頼していました。ブリッカー賞をはじめ各賞受賞、メディアでもよくお見かけする方です。西沢さんは学生の中に入ると、もう存在が分からなくなる程なじんでしまう若々しさと素朴さがあり、記念撮影の際にはスタッフが慌てて胸に大輪のリボンを付けて貰う場面もありました。ポストと呼ぶ建築家・妹島和代さんの事を「第一印象は『みどり色のアラブ人』で天真爛漫な爆発物、とんでもないパワーを秘めた存在で、将来は絶対に頭角を現



(中央) 西沢立衛氏と受賞者の皆さん

す人だと思った」と語ってくれました。「今は非常に穏やかで彼女の存在がみんなを統率する原動力であり、言葉を越えた関係を築いているとても可愛い人」だそうです。

当日は7組の入選者が5分間の持ち時間をフルに使って自作の映像と模型で審査員・観客の前にプ

レゼンテーションを行いました。発表直後、審査員から辛口の質問があり

返答に窮する場面もあり臨場感溢れました。第3回までの審査方式も良好でしたが、第4回から審査員長の要望で取り入れた公開審査という方式は、会場全員を前に討論にて「賞」を決定していきます。

ノミネートされた学生達はもちろん、その場にいらる観客もとても楽しめて建築への興味を倍増させる空間となり、学生の想いも重なりあっていきます。本年の最優秀賞は横浜国立大学大学院の4人組でした。昨年に続き横浜国大の連覇となりました。

毎年多くの学生に会いますが、年々クールな草食系に変

化しつつある事と女子のパワーが強い事(グループのリーダーは女子)を実感しています。若者はもちろん、スタッフ間の活動・連携も面白く、また新たな出会いと作品に巡り会う為に活動を続けていこうと思っています。興味ある方はぜひスタッフになって下さい。

学生のコラム

20歳を目前にして

名古屋デザイナー学院 インテリアデザイン学科
住宅デザインコース 1年 鈴木 菜月

私は最近、とても興味深い本と出会いました。

“What I wish I knew I was 20”

20歳のときに知っておきたかったこと。

まさに今、19歳である私にとっては読んでおきたいと思ったので買いました。

「まず、最初に今手元に5ドルあります。2時間でできるだけ増やさない」と、言われたら皆さんはどうしますか。

この本の著書であるティナ・シーリングさんが、実際にスタンフォード大学の学生に出した課題です。



できるだけ多くの価値を生み出そうと、この課題に取り組むとさまざまな可能性があります。しかし、お金にばかり注目すると、問題を狭く捉えすぎてしまいます。問題をもっと大きな観点で捉え直すことで、新しい発想から大きな利益を生み出すことができます。

この本から学ぶ事は多くて、まず第一にチャンスは無限大であること、次に問題の大きさに関係なく、今ある資源を使ってそれを解決する独創的な方法は常に存在するという事です。

私は今、デザインについて学んでいます。主にインテリアや建築のデザインですが、毎日いろんな刺激を受けながら、自分の考えを広げたり、感性を高めたりしています。

まだ、知識も経験も少ないけれど、いつか自分のデザインが人の幸せに繋がるように、今は自分にできる可能性を高めていきたいです。

特許第2920229
special pet amenity
こりゃいいワン!
特許技術による
ペットにとって優しい床

“うづくり
杉フローリング” **こりゃいいワン!**
床暖房対応“松” **たまらんニャ〜!**
フローリング “光触媒” 腰壁板 **におワン・ニャー**
有限会社 ジー・エヌ・エヌ
http://www.gnn-yuka.com
〒452-0902 愛知県清瀬市助七東山中71
【TEL】 052-401-1380 【FAX】 052-401-4345

Total Media Support

WELL ON

株式会社 ウェルオン

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目21番31号
TEL 052-732-2227 FAX 052-733-3178
URL <http://www.well-on.co.jp/>



建築基準法解説シリーズ

令第46条の解説

解説担当 馬場 富雄

【屋根のはね出し部分に働く風圧力について】

外壁より屋根をはね出す構造は日本ではすでに何千年も前から造られてきました(写真1)。我々は通常この部分を庇と呼んでいます、この庇は外壁を日照、雨の被害から守り、外壁の劣化を、たいそう防いでいるのです。中世になるとこの屋根の庇は、はね木の発明によりいっそう出がなくなり外壁の保護がいっそう守られたのです(写真2)。法隆寺の金堂が建立から千三百年有余もった要因の一つに屋根が外壁面より4.5m持ち出して外壁を守ったことによるものだと言われています。さて古い歴史的な話はこのくらいにしまして今回のテーマについてお話をいたします。昭和20年にアメリカとの戦争が終り昭和25年頃より日本の復興が始まりました。復興の象徴はなんといっても建築工事の多発でした。昭和30年代までは大部分の用途(学校、市場、映画館等)は大半が木造で復興され、住宅部門でも木造以外はほとんどありませんでした。しかし建築士の方々は設計の自由を謳歌し金属薄板屋根の設計が可能になったのを機に屋根勾配を1/10~3/10位にして通常の日本瓦葺の屋根ではせいぜい60cm位しか持ち出せないものを屋根が金属薄板仕上げの場合は軽いので外壁面より庇を100cmから120cm持ち出したモダン設計と称する住宅が大流行して、たくさん造り出されたのです。そこへ襲いかかったのが、あの伊勢湾台風でした。100cm以上持ち出した庇はことごとく被害を受け屋根全体が飛ばされるもの、庇がへし折られるもの散々たる結果になりました。以後この種の設計はすっかり影をひそめて現在に到っているのです。「もう懲りて造らないならそれでよいではないか」とおっしゃる方があるかもしれません。しかし伊勢湾台風から、すでに50年以上経過しました。「喉元過ぎれば熱さを忘れる」という諺もあります。過去の手痛い経験を忘れて、また危い建物が設計されるかも知れません。もしどうしてもこの種の設計をするなら、どうしてそんなに大きな力が働いたのか理解し、どのような風力を考えればよいかを解説致します。

たとえば外壁面から50cmはね出した屋根の軒裏部分に働く風圧力をAとしますと、100cmはね出

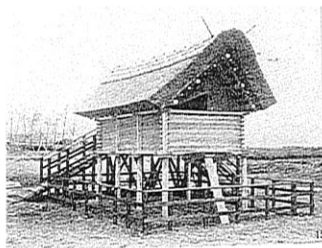


写真1

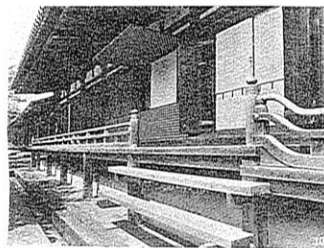


写真2

図2



図3

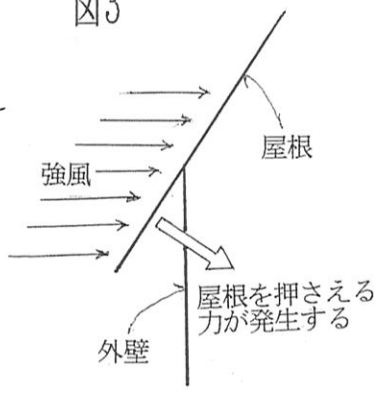


図1

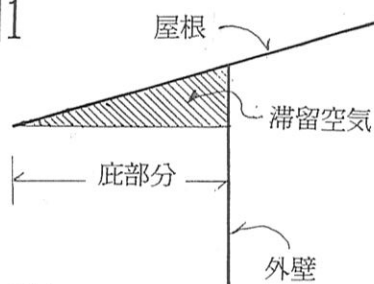
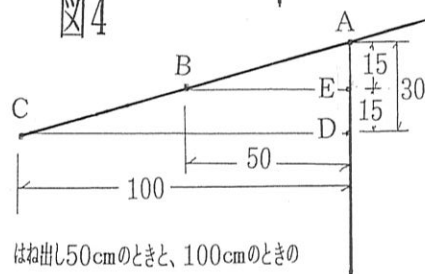


図4



はね出し50cmのときと、100cmのときの
滞留空気断面面積の計算

$$\triangle ABE = 50 \times 15 \div 2 = 375$$

$$\triangle ACD = 100 \times 30 \div 2 = 1500$$

$$\triangle ABE : \triangle ACD = 1 : 4$$

した屋根の軒裏面積は2倍になりますので働く風圧力は2Aになるかといいますが、そうではなさそうです。もしそうだとしたら伊勢湾台風であんなに被害を受けなかった筈です。なぜかとの理由の一つに図1に示す滞留空気量の大きさが庇に働く力に関係しているのではないかと考える方がよいです。この図の滞留空気とは外壁と軒裏に閉まって身動き出来ない空気の部分をいいます。この空気量が多い程二つの現象が働くのです。一つは軒下から吹き上げてくる風力に対して、この滞留空気が確実に軒裏のすみずみまで力を伝達します。すなわち、逃げ場のない空気が全部庇を突き上げるのです。もう一つは滞留空気が下から押し上げられて空気の大きな塊が高気圧になってしまうのです。これが低勾配の屋根のときは非常にまずいのです。というのは屋根表面が水平に近いので台風の風がよくすべって移動し、低気圧になっているのです。このために軒裏を押し上げる風力にプラスして高気圧の空気が低気圧の方に移動しようとする力が追加されることになります。(図2参照)。ここで屋根勾配を大きくすれば図3のように逆に風力が屋根を押さえつけるような力になり、庇の吹き上げ問題は、ほとんど起きなくなることを申し添えておきます。そこで、庇の長さや滞留空気量との関

係を計算しますと、図4のようになります。庇の長さを倍にすると滞留空気量は4倍になります。すなわち、先程説明した二つの現象が効率よく働き、出が50cmと100cmでは庇に働く力に、びっくりするような差がでてくるのです。このようなことから100cm以上持ち出した軒裏に働く風圧力は一平方メートルにつき300kg位みるべきだという学者もいます。もしこの条件ということになれば木造では吹き上げ対策の設計が不可能で鉄骨か鉄筋コンクリートにするしか方法がありません。おしまいに伊勢湾台風の直後とてもはやった小話を思い出しました。今回は、その小話を紹介して終わります。

『ある1級建築士の旦那が自分の家を木造2階建、屋根は低勾配にして外壁面より100cmはね出して設計し、住んでいたところへ台風が襲ってきた。しばらくすると1階にひどい雨もりが始まった。たまりかねて奥さんが「あなた1級建築士でしょう!1級建築士の設計した家がどうしてこんなにひどい雨もりがするんですか!」とぐちると旦那は「うるさい!この位ひどい台風だとこの位の雨もりは仕方ないんだ」と押さえつけていたが、あまりにもひどい雨もりなので旦那が2階へ上っていったら屋根がなかった!』

春 夏 秋 冬

ここ数年、家事の暇をみては母が没頭しているのは「ナンプレ」。僕なんぞはいくつか解いてしまったらばすく飽きてしまったものですが、彼女は飽きもせず憑かれたように新たな課題に取り組み続けている。そのモチベーションの出所は、脳の老化防止のためなのか、何なのか……分からない。一方、僕は問取りを組んでは壊し、捏ね繰り回し、挙句、これ以上どこも動かしようの無いレイアウトを、考え出すと言うより、あたかも自然に以前からそこにあったかのように見つけた時、「納まりの神様」に出会う事がある。もしかしたら、母も「納まりの神様」に魅せられているのかもしれない。

平手 公基

編集後記

特集号はイベント報告主体の紙面構成になりました。若干、煩雑でまとまりの無い部分もありますが…ご勘弁ください。

各委員はカメラ片手にまちを右往左往、堀川の遊覧船と自転車と競争し、天気都合を気にしながら挿入写真のアングルを検討して、原稿依頼の手配、文字数オーバーの調整、ドタバタしながらナントカ発行に辿り着きました。

会員の皆さんは記念イベントを楽しんでいただけましたか?

広報渉外委員長 森 登

平成20年度
1級建築士
設計製図試験
合格者
占有率
愛知県
No.1

愛知県の合格者の7割以上は、当学院の受講生でした。

愛知県合格者
261名中
当学院合格者
185名
70.9%

確かな実績に基づく指導/ノウハウで合格に導きます

WEB SITE RENEWAL OPEN!
いますぐ! ウェブ検索
「包含資格」検索
www.shikaku.co.jp

最新の試験情報が満載!
合格応援グッズプレゼント中!
資料請求や
受講申込も受付中!

建築関連
資格の最前線
**建築士・人気国家資格
にチャレンジ 宅建**

総合資格学院

名古屋校/TEL.052-202-1751 岐阜校/TEL.058-277-3701
小牧校/TEL.0568-42-1211 津校/TEL.059-238-0711
岡崎校/TEL.0564-57-8161 四日市校/TEL.059-359-0711
豊橋校/TEL.0532-57-0311

住宅リフォーム・リニューアル工事、耐震補強工事
集合住宅・ビル・マンション・一般住宅・倉庫・工場・営業店舗

豊かな環境を創造する

株式会社 **ムラテ**

テレビ愛知毎週土曜PM6:30
「ホトチャンネル」CM提供中
URL <http://www.murate.com/>

〒453-0861 名古屋市中村区岩塚本通1-51 TEL052-411-8111 FAX052-413-1036
津島(営) TEL 0567-31-0780 名岐(営) TEL052-400-1291

Hyper MEGA **Hyper NAKSII**

(プレボーリング系高支持力工法) (中掘系高支持力工法)

日本コンクリート工業株式会社
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.